



上田市議会では、市民に開かれた議会を目指し議会改革を積極的にすすめています。すべての委員会・会派の「行政視察実施報告書」を議会ホームページで公開しています。覗いてみてください・・・。下記は、「議会広報特別委員会（1/28）」の視察報告書です。

平成26年度 委員会行政視察実施報告書

委員会名	議会広報特別委員会
参加委員	◎渡辺正博 ○半田大介 池田総一郎 原栄一 松山賢太郎 金子和夫 小坂井二郎 山田英喜 林和明

◎委員長、○副委員長



亀山市役所

1 上田市での課題と視察の目的

「議会広報」は議会が存在する限り発行されます。それを担当する委員会は、期限のある特別委員会でのいいのかという問題意識があります。また、今後さらに求められる広報広聴活動のあり方について先進地視察を行った。

2 実施概要

実施日時	視察先	三重県 亀山市
平成27年1月28日 午前9時30分～午後0時	担当部局	亀山市議会事務局

視察事業名	広報広聴委員会の活動について
報告内容	<p>1 視察先の概要 平成14年電機メーカー「シャープ」の誘致で、最盛期には財政力指数が1.39でしたが、リーマンショックの発生などで現在は地方交付税交付金が支給される「交付団体」となり、大きな方向転換を迫られている。平成22年6月に「議会基本条例」を制定する。平成23年「議会だより編集委員会」は、広聴機能の充実を図るため「市議会広報委員会」にあらためる。</p> <p>2 視察先の特徴 「広報広聴委員会規定」を設け、委員7名（議会運営委員が主）副議長が委員長を勤める。「議会だより」の他に議会報告番組「こんにちば！市議会です」の企画・政策・監修を行っている。</p> <p>3 視察事項について ① 広報広聴の位置づけは 議会改革を進めていくうえでは、広報広聴は密接な関係にありその機能の充実には必至で、議会基本条例でもうたっています。 ② 広報広聴の議論の過程は 議会の役割は「行政のチェック・政策提言・議会改革」そして議会の外に向けて発信する広報広聴の機能を高めることで、議会本来の機能も高まる。 ③ 広報広聴委員会は常任委員会に準ずるものか 会議規則を規定し、正式な会議として位置づけている「全員協議会・常任委員会協議会・正副委員長会議・議会改革推進会議」</p>

報告内容

- （部会を含む）・広聴広報委員会」常任委員会化の議論はまだ出ていない。
- ④ 広聴広報委員会の予算はまた視察などかどうか  
予算はなし、視察もなし、ただし、議会報告会やインターネット配信などの先進地視察は、議会運営委員会に対応した。
- ⑤ 広聴広報委員会は、なぜ議会運営委員会のメンバーなのか  
議会報告番組をつくるにあたって、番組の関係でシナリオの編集など含め定例会の内容が分かっている。
- ⑥ 議会だよりと議会報告番組の市民の反応はどうか  
アンケート結果からは、議会だよりを読んでいると答えた市民は7割と多いが、議会報告番組は少ない。内容の検討をさらに進めていきたい。
- ⑦ 議会報告会は開催していないが広聴の場はどうか  
所管事務調査と議会報告番組で行っている。
- ⑧ 市民の意見を政策につなげる仕組みはあるのか  
テーマを決めて行う所管事務調査のなかで、テーマに沿った関係団体との意見交換は必ず行い、その研究にあたって最終調査報告書をマトメ、必ずそこには提言事項があって、執行部に伝えている。

考察

- ① 「上田市議会基本条例」に沿って広聴広報活動の位置づけを明確にすること。
- ② 広聴広報活動充実のための委員会のあり方についての議論は必要であること。
- ③ 「市民意識調査」は必要と思われます。上田市議会では、たとえば議会報告会のさいにも依頼はできそう。
- ④ 積極的なインターネット配信。

「文責 渡辺正博」

28日	25日	24日	23日	22日	21日	20日	19日	18日	17日	16日	15日	14日	13日	12日	11日	10日	9日	8日	7日	6日	5日	4日	3日	2日	1日	
モルティイ街宣	朝の手振り「宮島交差点」 一般質問準備	上田駅前モーターサーブ	3月議会準備	モルティイ街宣	上田地域広域連合2月議会閉会	生活相談	来光寺池耕作者代表会	二般質問（渡辺正博市議初質問）	上田地域広域連合2月議会開会	朝の手振り「神畑交差点」	上田広域連合議会一般質問仕上げ	モルティイ街宣	上田市議会3月議会一般質問準備	成総会	生存権裁判を支援する会「長野県結成総会」	朝の手振り「仁古田交差点」	水道施設耐震化・勉強会（東京）	上田駅前モーターサーブ	上田広域連合「保健福祉委員会」	モルティイ街宣	「安倍政権と憲法の行方」講演会	生活相談	党全県地方議員会議	健康福祉部要請行動「絆事業」	上田広域連合議会一般質問準備	上小・東御生活と健康を守る会総会

わたなべ正博のノート



【2月】

# とうとう恐れていた事態が起きてしまいました 人間の命を奪う残忍な犯罪行為を断固として糾弾するものです

## 安倍首相の「イスラム国」を名指ししての「挑発行為」

今回の事件のきっかけを与えたのは、安倍首相の中東歴訪であり、エジプトのカイロでの演説でした。

そこで表明された「イスラム国」対策としての2億ドルの人道支援の表明が、絶好のタイミングで、格好の口実を与えることになったのはまぎれもない事実です。

## なぜ・・・この時期に中東訪問か

安倍首相は1月17日の阪神・淡路大震災20周年の式典をサボり、企業の幹部約100人を引き連れて中東4カ国の歴訪に出かけました。

それは、中東地域に日本企業の売り込みを図るとともに、持論である「積極的平和

主義」の実績を示し、そして、通常国会を前に集団的自衛権の行使容認に向けての実績を示しておこうという思惑が・・・。

## 安倍首相の無分別と自己顕示欲が引き起こした悲劇

人道的な難民支援であれば、国連や赤十字（赤新月社）を通じて粛々と拠出すればいいのに、わざわざ中東地域に出かけ、今回のような目立つ形でパフォーマンスを行いました。

それが格好の標的となつて、今回の事件に利用されたということではないでしょうか。安倍首相の中東歴訪がなければ、今回のような事件は起きなかつたのではないのでしょうか。その責任は極めて大きいです。

## ひとりの愚かな首相の行動が平和国家日本のイメージを大きく転換

今回の事件は安倍首相が目指している「積極的平和主義」の危険性を、はっきりと示しています。集団的自衛権の行使容認によって、中東やイスラム圏でも定着していた「平和国家」としてのイメージを、日本は大きく変えてしまった。

日本と日本人が敵視され、テロに巻き込まれるリスクを覚悟しなければならぬ時代が始まるようになっていきます。

## 憲法9条と「専守防衛」の国是を守る

戦後70年の今年、再び、戦争と平和のあり方、日本の進路が問われようとして

います。このような年であるからこそ、憲法9条を守り、平和国家としてのあり方を断固として堅持しなければなりません。

そのためにも、通常国会での集団的自衛権行使容認のための法改定を阻止する必要があります。日本は武力に訴えて国際紛争に介入するような国ではないということを、改めて世界中に示すことが急務になっていきます。



長野県議会議員選挙  
4月3日告示・12日投票

藤野やすふみ衆議院議員（北陸信越ブロック11年ぶりの党国会議員・高村京子県議会議員（ねばり強さと社会正義感の強い県議会議員）

# 3・14日本共産党演説会

どなたでも参加できます

日時：3月14日（土）午後2:00

場所：丸子セレスホール

弁士：藤野やすふみ衆議院議員・高村京子県議会議員